

自立した基礎自治体の創造に向けて

今日、時代は大きな転換期にあり、社会の仕組みや私たちの暮らしも大きく変わりつつあります。

こうした中で、私たちが豊かさや安心した生活が実感できる地域社会を築いていくためには、町政運営が社会環境の変化や住民ニーズを的確に反映していくことは勿論ですが、それぞれの地域やそこに住む私たち自身が、適切な役割分担をもって地域づくりに取り組んでいくことが大切です。



私たち一人ひとりが地域社会に参画し、協力し合いながら地域課題の解決に当たる、つまり、みんなのことはみんなで取り組んでいくという「地域社会の原点」となる行動は、地域の自立を更に推し進めることになります。

こうして創り出された個性や魅力、協働により得られる経験・達成感は、新しい時代の壬生を「創造」していく大きな原動力になると考えております。

壬生町には、豊かな自然、独自の伝統・文化、恵まれた立地、そして皆様のご支援を頂き築いて参りましたさまざまな施設や基盤、文化・芸術活動など、未来に誇りうる財産がしっかりと備わっております。

本計画では、これらの財産を生かしながら、住民、企業、行政等と一緒に進める「まちづくり」の取り組みを明らかにするとともに、変動する時代においても、住民の信託に着実に応え続けていける体力のある自治体経営を目指し、民間活力の誘致・支援など、「活力と創意が生きる希望に満ちたまち」を目標として、ともに推し進めて参りたいと考えております。

最後になりましたが、計画の策定にあたり、長期間の審議にご尽力賜りました企画委員会、町民の皆様、慎重に審議し議決をいただきました町議会に対し、心から感謝を申し上げますとともに、今後の計画推進に当たりまして、なお一層のご協力をお願い致します。

平成18年3月

壬生町長

清水英世